

(1面のつづき)

現状や背景を丁寧に把握した上で、医療、福祉、教育、就労などの関係機関につなぐ「伴走型」の支援を行っている。

加えて、「ひきこも

り支援ステーションあしたば」では、家族支援として月1回の家族会を開催し、延べ9人の参加があったほか、「にこ・ふる」において、個別相談会を4回実施している。

プレー・パーク運営方針は

問 旧一小跡地に整備予定のプレー・パークは、令和10年の秋に供用開始を目指している。

プレー・リーダー養成講座や、プレー・パーク体験事業について、それぞれの成果と課題はどうか。

また、プレー・リーダーの養成と、プレー・パークの運営形態はどちらか。

健康福祉部長 プレー

パーク体験会は、10月5日と26日に、中央児童館野外遊園で開催した。

5日は親子合わせて277人、26日は親子95人の参加があった。

参加者へのアンケート調査では、プレー・パークを体験し、満足度や満足と回答した親子が90%を超えるが、できない体験や学びがあった、

庄内農民連が定期総会

庄内農業農民運動連合会（小林隆範会長）の第26回定期総会が13日、藤島工コタウンセンター（ふじしま市場たわらや）2階会議室で開かれました。

記念講演は、農民連食品分析センター所長の八田純人氏が、「P-FAS（有機フッ素化合物）とは何か？」と題して、オンラインで行われました。

下水汚泥肥料からもP-FASが見つかりおり、日本の基準値の低さが指摘されました。



ついて検討する。

現状や背景を丁寧に把握した上で、医療、福祉、教育、就労などの関係機関につなぐ「伴走型」の支援を行っている。

「にこ・ふる」において、個別相談会を4回実施している。



(鶴岡市プレー・パーク展開事業)

要と考えている。

プレー・パークは、プレー・パークに欠かせない存在であるため、引き続き養成講座等を開催し、人材の発掘と養成を進めていく。

学校給食センター・民間委託やめよ

問 新学校給食センター整備について、今年

3月議会で、皆川前市長からは、調理の民間委託は再検討を行い、令和7年度で方向性を決めるという答弁だった。

また、運営準備委員会を立ち上げ、改めて調理を担う主体と、方

式、教育などの具体的な内容について、確実な質の向上と、持続可能な観点から検討し、結論を得るとしていた。

今年の2月に実施し

たパブリックコメント

には44人、123件と多くの意見が寄せられ

ており、市民の関心も非常に高い。

新センターの整備基

本計画、調査

令和8年度の運営方針、及び学校給食費の試算はどうか。

教育部長 令和8年度の学校給食センターの運営方針は、栄養バランスの取れた和食を基本とした、安全でおいしい給食を提供するとともに、献立に地域の行事食や、郷土食をふんだんに取り入れながら、食文化の継承、食育の充実に引き続き努めていく。

学校給食費は、物価高騰下においても、給食の質や量を安定的に確保する必要があるの

で、今後の物価動向を注視しながら適正な額を算定していく。

問 調理部門の民間委託に関しては、学校給食の安定的供給の問題があり、安全性や質の確保を図ることができない状況を招くおそれがある。

また、子供の権利保障の観点からも、問題があるということを指摘してきた。

学校給食センターで働く職員は、女性が圧倒的で、外部委託によって公務労者を削減するというようなことは、若者や女性に選ばれるまちづくりを目指す本市の方向にも逆行するのではないか。

また、本市の学校給食が長年蓄積してきたものが失われるのではないか。

調理部門を含めて民間委託すべきではない。